

2025 年 7 月 25 日

ネオジェンジャパン株式会社

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい 3-3-3

横浜コネクトスクエア 12 階

当該製品における安全データシート（SDS）について

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。さて、当該製品について、安全データシート（SDS）を発行しておりますが、当該製品の供給者情報及び日本の適用法規制情報について以下のように追加情報として記載をいたしますので、SDS と併せてご確認・ご利用をいただけますようお願いいたします。

本件につきましてご不明点などございましたら、当社営業担当までお問い合わせください。

敬具

記

品番	製品名
NCM0270A	緩衝ペプトン水 HQ（ISO） (Buffered Peptone Water HQ (ISO))

*NCM0270A は SDS に記載の NCM0270 における容量指定の品番であり、内容は同一です。

供給者情報

ネオジェンジャパン株式会社

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい 3-3-3

横浜コネクトスクエア 12 階

電話番号: 045-211-4615

日本国内適用法規制及び関連情報

適用しない

本書の情報は正確を期していますが、すべてを網羅することを意図したものではなく、あくまで目安として使用すべきものとします。Neogen Corporation は、対象製品の取り扱いまたは接触に起因するいかなる損傷・損害についても責任を負わないものとします。

以上



製品安全データシート

JIS Z7253 による分類

ページ 1/8

Buffered Peptone Water HQ (ISO)

改訂 5
改訂日 2024-03-21

化学物質等および会社情報

A4.3.1.1 GHSの製品特定名

製品名	Buffered Peptone Water HQ (ISO)
製品コード	NCM0270, 400000882, 700004773, 700004774, 700004775

A4.3.1.2 化学品の推奨用途と使用上の制限

使用目的	[SU3] 産業用途：物質自体の使用、または産業現場での準備における使用; [PC21] 実験用化学薬品; [PROC15] 実験用試薬として使用;
説明	品質管理や監視など、日常的な分析での使用を目的としています。インビトロ使用のみ。

A4.3.1.3 供給者の詳細

会社住所	Neogen Corporation 620 Leshar Place Lansing MI 48912 USA
ウェブ	www.neogen.com
電話	517-372-9200/800-234-5333
Eメール	SDS@neogen.com

A4.3.1.4 緊急電話番号

	24時間対応 医療関連：1-800-498-5743(米国およびカナダ)または1-651-523-0318(国際) 漏洩 / CHEMTREC: 1-800-424-9300(米国およびカナダ)または1-703-527-3887(国際)
--	--

危険有害性の要約

A4.3.2.1 化学物質または混合物の分類

化学物質または混合物の分類	入手可能なデータに基づく、この製品は危険物として分類されていません。
---------------	------------------------------------

A4.3.2.2. ラベル要素

危険有害性情報	本製品は非有害物に分類されている。
---------	-------------------

A4.3.2.3. 結果として分類されないその他の危険有害性

他の有害性	吸入するとほこりが刺激を受ける可能性がある。
-------	------------------------

組成、成分情報

説明

	適用される規制に従って組成物質名を開示する必要はありません。 記載されている濃度は製品仕様ではありません。
--	--

粒子特性

	情報なし。
--	-------

追加情報

Buffered Peptone Water HQ (ISO)

改訂 5
改訂日 2024-03-21

追加情報

	本セクションに記載されているハザードステートメントの全文は、セクション16に記載されています。
--	---

応急措置

A4.3.4.1 必要な応急措置の説明

吸入	曝露された人を新鮮な空気が吸える場所に移動させる。呼吸困難な場合は酸素を補給する。呼吸が停止した場合、人工呼吸を施す。刺激や症状が持続する場合は医師の診察を受ける。
眼との接触	直ちに大量の水ですすぐ。コンタクトレンズを外すこと。刺激や症状が持続する場合は医師の診察を受ける。
皮膚との接触	汚染された衣服を脱ぐ。石鹼水で洗う。刺激や症状が持続する場合は医師の診察を受ける。
飲み込み	毒物管理センターや医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。口をしっかりとすすぐ。意識のない者には口から物を与えてはならない。気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。

A4.3.4.2. 最も重要な症状と影響、急性と遅延の両方

吸入	呼吸器系を刺激することがある。
眼との接触	眼を刺激することがある。
皮膚との接触	皮膚を刺激することがある。
飲み込み	飲み込むと嘔気嘔吐を生じることがある。

A4.3.4.3. 緊急の医療処置と特別な治療が必要な兆候

	被害者を汚染源から直ちに退避させる。火傷もしくは中毒症状がある場合、病院に搬送する。刺激や症状が持続する場合は医師の診察を受ける。医学的な助言が必要な時には、製品容器やラベルを持っていくこと。
--	--

火災時の措置

A4.3.5.1 適切な消火剤

	火災周辺の条件に適した消化物質を使用する。
--	-----------------------

A4.3.5.2 化学品から生じる特定の危険性

	粉塵が発生しないようにする。希釈されていない製品を地下水、水路または下水システムに放出させないでください。
--	---

A4.3.5.3 消防士用の特別な防具と予防措置

	ほこりや蒸気を吸わないでいき。自給式呼吸器と化学防護服を着用してください。
--	---------------------------------------

漏出時の措置

A4.3.6 1人への予防措置、防具、および応急処置法

	粉塵が発生しないようにする。必要に応じて使用するもの：防護装備、防護衣、作業区域の適切な換気を確実にする。遷延性または反復性曝露を避けること。
--	---

A4.3.6.2 環境上の予防措置

	安全に実施できる場合、更なる流出を阻止する。流出区域を大量の水を使用して十分洗浄する。表層水に流し込まない。製品で土壌を汚染しないようにする。
--	---

A4.3.6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法および用具

	粉塵が発生しないようにする。流出区域を大量の水を使用して十分洗浄する。設備の清掃や廃棄物の処理により水を汚染しないでください。
--	---

A4.3.6.4. 他のセクションへの参照

	詳細については、セクション[s] 2, 8, and 13 を参照してください。
--	--

取扱いおよび保管上の注意

Buffered Peptone Water HQ (ISO)

改訂 5
改訂日 2024-03-21

A4.3.7.1 安全な取扱のための予防措置

	取り扱い、運搬、投棄するときは考え得る最善の方法で扱う。目にはいらないようにする。本製品の保管場所あるいは使用場所で飲食喫煙しない。作業区域の適切な換気を確実にする。設備の清掃や廃棄物の処理により水を汚染しないでください。必要に応じて使用するもの：防護衣。 ラベル全体を読み、すべての使用方法、制限、および注意事項に従ってください。
--	---

A4.3.7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

	2 °C ~ 30 °C の温度で保管する。ラベルの指示に従う。 正しくラベルされた容器に保管する。容器を厳重に密閉し保管しなければならない。湿気を遮断すること。貯蔵または処分によって水、食料、飼料を汚染しないでください。
--	--

A4.3.7.3. 特別な用途

	詳細については、セクション[s] 1.2 を参照してください。
--	---------------------------------

追加情報

	詳細については、製品ラベルまたは添付文書を参照してください。
--	--------------------------------

暴露防止および保護措置

A4.3.8.1 管理パラメーター

	職業ばく露限度は不明。
--	-------------

A4.3.8.2. 露出制御

	   
A4.3.8.2.1 適切な工学的管理方法	作業区域の適切な換気を確実にする。
A4.3.8.2.2 個人用保護衣 (PPE) などの個人保護措置	必要に応じて使用するもの：防護装備。
眼/顔面の保護	必要に応じて使用するもの：適切な眼の防護。
皮膚の保護	必要に応じて使用するもの：任意の防水材料から成っている耐薬品性手袋。手袋を取り除く前に、手袋の外側を洗ってください。
皮膚の保護	必要に応じて使用するもの：防護衣。汚染された衣類を再使用する場合には、他の衣類とは別に、洗剤と水で洗濯をすること。
呼吸器の保護	換気が不十分の場合には防毒マスクを着用のこと。吸入するとほこりが刺激を受ける可能性がある。
労働曝露管理	推奨の労働曝露限界 (OEL) を超える曝露は、健康に有害な作用を引き起こすことがある。衣類が製品に接触しないようにする。身体洗浄のための設備を設ける。洗眼ステーションを設置する。

追加情報

	追加の PPE 要件と推奨事項については、製品ラベルを参照してください。ラベルの指示に従ってください。
--	---

物理的および化学的性質

A4.3.9.1. 物理的および化学的性質

Buffered Peptone Water HQ (ISO)

改訂 5
改訂日 2024-03-21

A4.3.9.1. 物理的および化学的性質

状態	粉末
色調	ページユ色の
臭い	特性
臭いの閾値	情報なし
酸性度 (pH)	6.8 - 7.2
融点	情報なし
凝固点	情報なし
初留点	情報なし
引火点	情報なし
蒸発速度	情報なし
燃焼限界	情報なし
蒸気圧	情報なし
相対蒸気密度	情報なし
密度/相対密度	情報なし
脂肪溶解度	情報なし
パーティション係数	情報なし
自然発火温度	適用外
粘性	適用外
爆発性	適用外
酸化	情報なし
溶解度	水に可溶

A4.3.9.2. その他の情報

伝導性	情報なし
表面張力	適用外
気体	情報なし
ベンゼン含有量	情報なし
リードコンテンツ	情報なし
揮発性有機化合物 (VOC)	情報なし

安定性および反応性

A4.3.10.1 反応性

	通常の条件下で安定.
--	------------

A4.3.10.2 化学的安定性

	通常の条件下で安定.
--	------------

A4.3.10.3 危険有害反応可能性

	指定された条件下では、過度の温度や圧力につながる危険な反応は期待されません。.
--	---

A4.3.10.4. 避けるべき条件

	極端な温度 から常に遠ざけておく。 . 湿気を遮断すること。 . 日光から遮断すること。 .
--	--

A4.3.10.5 混触禁止物質

	情報なし.
--	-------

A4.3.10.6. 有害な分解生成物

	炭素酸化物.
--	--------

有害性情報

A4.3.11.1ハザードクラスに関する情報

Buffered Peptone Water HQ (ISO)

改訂 5
改訂日 2024-03-21

A4.3.11.1 ハザードクラスに関する情報

急性毒性	使用可能なデータに基づいて、分類基準が満たされません。.
皮膚腐食性/刺激性	皮膚を刺激することがある。.
眼に対する重篤な損傷/刺激性	眼を刺激することがある。.
呼吸器または皮膚感作性	感作された人にアレルギー反応を引き起こすことがある。.
生殖細胞変異原性	変異原性は報告されていない。.
発がん性	米国政府産業衛生専門家会議 (ACGIH) の職業暴露ガイドに0.01%を超える成分は収載されていない。. 0.01%を超える成分は、国際がん研究機関(IARC)モノグラフに掲載されていません。 発がん性物質に関する国家毒物学プログラム(NTP)報告書に0.01%を超える成分は一切掲載されていません。 OSHA規格1910.1003発がん物質に記載されていません。.
生殖毒性	催奇形作用は報告されていない。.
特定標的臓器毒性 - 単回暴露	吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難 を起こすおそれ.
特定標的臓器毒性 - 反復暴露 および	本製品は非有害物に分類されている。.
吸引性呼吸器有害性	本製品は非有害物に分類されている。.
反復性または遷延性曝露	遷延性または反復性曝露を避けること。 . 苦情の出現の遅れと過敏症の発症(困難な呼吸、咳、喘息)が可能である。.

A4.3.11.1.2. 混合物

	詳細については、セクション[s] 3 を参照してください。.
--	--------------------------------

A4.3.11.1.3. ハザード情報

	詳細については、セクション[s] 2 and 3 を参照してください。.
--	--------------------------------------

A4.3.11.1.4. 毒性情報

	情報なし
--	------

A4.3.11.1.5. ハザードクラス

	詳細については、セクション[s] 2 and 14 を参照してください。.
--	---------------------------------------

A4.3.11.1.6. 分類基準

	混合物の分類に関するGlobally Harmonized System (GHS) の考慮事項に基づいています。 規制の引用については、セクション15を参照してください。.
--	---

A4.3.11.1.7. 可能性のある暴露経路に関する情報

	眼との接触. 皮膚との接触. 吸入. 飲み込み.
--	--------------------------

A4.3.11.1.8. 物理的、化学的および毒物学的特性に関連する症状

	詳細については、セクション[s] 4.2 を参照してください。.
--	----------------------------------

A4.3.11.1.9. 遅延および即時の影響、ならびに短期および長期の曝露による慢性的な影響

	詳細については、セクション[s] 4.2 を参照してください。.
--	----------------------------------

A4.3.11.1.10. インタラクティブな効果

	情報なし.
--	-------

A4.3.11.1.11. 特定のデータがない

	<1この混合物の%は、未知の急性毒性の成分で構成されています.
--	---------------------------------

A4.3.11.1.12. 混合物と物質の情報

	詳細については、セクション[s] 3 を参照してください。.
--	--------------------------------

A4.3.11.1.13. その他の情報

	情報なし.
--	-------

Buffered Peptone Water HQ (ISO)

改訂 5
改訂日 2024-03-21

A4.3.11.2 その他の危険に関する情報

	情報なし.
--	-------

環境影響情報

A4.3.12.1. 毒性

	情報なし
--	------

A4.3.12.2 残留性と分解性

	本製品について利用できるデータはない。.
--	----------------------

A4.3.12.3 生物蓄積性

	本製品について利用できるデータはない。.
--	----------------------

A4.3.12.4 土壌中の移動性

	本製品について利用できるデータはない。.
--	----------------------

A4.3.12.5 PBTおよびvPvB評価の結果

	本製品について利用できるデータはない。.
--	----------------------

A4.3.12.6 内分泌かく乱物質

	本製品について利用できるデータはない。.
--	----------------------

A4.3.12.7 その他の悪影響

	物質または混合物の特定の試験データは入手できません。.
--	-----------------------------

追加情報

	湖、池、小川から遠ざける。.
--	----------------

廃棄上の注意

A4.3.13.1 廃棄方法

	地元、地域、国の規制 に準拠して廃棄する。 . ラベルの指示に従う .
--	-------------------------------------

廃棄方法

	設備の清掃や廃棄物の処理により水を汚染しないでください。 . 表層水に流し込まない。 . 地元、地域、国の規制 に準拠して廃棄する。 .
--	--

包装器材の廃棄

	補充不能の容器。この容器を再利用したり補充したりしないでください。 . 空の場合: このコンテナは再利用しないでください。可能な場合は、ゴミ箱に入るか、リサイクルを申し出ます。 内容物が残っている場合: 地域の固体廃棄物処理業者に廃棄方法の指示を仰ぐこと。未使用の製品を屋内又は屋外の排水溝に絶対に流さないこと。 .
--	--

追加情報

	詳細については、製品ラベルまたは添付文書を参照してください。 . ラベルの指示に従う .
--	--

輸送上の注意

A4.3.14.1 国連番号

	本製品は運搬に危険とは分類されていない。
--	----------------------

A4.3.14.2 国連出荷名

	本製品は運搬に危険とは分類されていない。
--	----------------------

A4.3.14.3 輸送時の危険性クラス

	本製品は運搬に危険とは分類されていない。
--	----------------------

A4.3.14.4 該当する場合、容器等級

Buffered Peptone Water HQ (ISO)

改訂 5
改訂日 2024-03-21

A4.3.14.4 該当する場合、容器等級

本製品は運搬に危険とは分類されていない。

A4.3.14.5 環境有害性

本製品は運搬に危険とは分類されていない。

A4.3.14.6 使用者のための特別予防措置

本製品は運搬に危険とは分類されていない。

14.7 IMO機器による大量の海上輸送

本製品は運搬に危険とは分類されていない。

適用法令

A4.3.15.1 該当製品に特有な安全、健康および環境に関する規制

規則	産業安全衛生法(ISHL)による日本工業規格(JIS).
化学物質の在庫と知る権利のリスト:	詳細については、SDS@neogen.com までお問い合わせください。国または地域を指定してリクエストしてください。.
	カリフォルニア州提案65: この製品は、0.0001%濃度の報告可能な物質を含みません.

その他の情報

その他の情報

改訂	この文書は、次の分野について以前のバージョンとは異なっている。 2 - 他の有害性。 7 - A4.3.7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件。 9 - A4.3.9.1. 物理的および化学的性質 (臭い)。 9 - A4.3.9.1. 物理的および化学的性質 (自然発火温度)。 9 - A4.3.9.1. 物理的および化学的性質 (酸化)。 9 - A4.3.9.1. 物理的および化学的性質 (脂肪溶解度)。 9 - A4.3.9.2. その他の情報 (気体)。 10 - A4.3.10.4. 避けるべき条件。
頭字語	ADR/RID: 鉄道 (RID) および道路 (ADR) による危険物の国際輸送に関する欧州協定。 CAS No.: 化学抽象サービス。 CLASS: 有害化学物質規制2013の分類、ラベリング、安全データシート(マレーシア)。 FIFRA: 米国連邦殺虫剤、殺菌剤、ローデン殺虫剤法。 GHS: グローバルに調和したシステム。 HCS 2012: 米国ハザード通信規格(2012年改訂)。 IATA: 国際航空運送協会。 ICAO: 国際民間航空機関。 IMDG: 国際海上危険物。 LD: 致死量。 OEL: 職業暴露限界。 OSHA: 米国労働安全衛生局。 PEL: 許容露出制限。 REACH: 化学物質の登録、評価、認可、制限。 STOT: 特定の標的臓器毒性。 SVHC: 非常に高い懸念の物質。 US DOT: 米国運輸省。 VOC: 揮発性有機化合物。 WEL: 職場の露出制限。

追加情報

免責事項:ここに記載されている情報および推奨事項("情報")は誠意をもって提示され、発行日の時点で正しいと考えられています。その内容が完全又は正確であることを表明するものではありません。また、本製品の使用に影響を与える多くの要因により、本製品を受け取った方が、ご利用

Buffered Peptone Water HQ (ISO)

改訂 5
改訂日 2024-03-21

追加情報

前に独自の目的に対する適合性を判断することを条件として提供されます。.

この安全データシートに明示的に記載されている場合を除き、本製品あるいは本製品の使用に関して、明示的あるいは黙示的であるかを問わず、いかなる保証も陳情もいたしません。これには以下を含みますが、これに限りません：商品性、特定目的に対する適合性、履行の過程、商慣習、又は本製品使用により得られた結果の黙示保証。